

昭和三十一年二月二十二日招集
第二面市議會議臨時會之議錄

昭和三八年館山市議会第二回臨時会々議録

昭和三八年二月招集

二月二日(金曜日)

一現在議員三三名でその氏名次の通り、

一番	山本 昇	二番	石井 孝
三番	三沢 節	四番	小林寛之助
五番	江田徳太郎	六番	鈴木彦太郎
九番	吉田勇治郎	一〇番	佐野 信
一二番	嶋 寛 壮 作	一三番	安 沢 徳 順
一四番	法 木 嗣 郎	一五番	嶋 田 繁
一六番	遠 山 日 木 子	一七番	志 村 信 作
一八番	安 西 政 治	一九番	田 中 忠 蔵
二〇番	北 山 茂 雄	二一番	後 藤 ゆ う
二二番	田 中 祿 郎	二三番	吉 田 辰 雄

二四番 飯田義男 二五番 脇田順一

二六番 岩崎静敬 二七番 鈴木市蔵

二八番 加藤良太郎 二九番 荻生田七郎

三〇番 長谷川光江 三一番 田村喜兵衛

三二番 鈴木孝 三三番 山口幸三

三四番 松本藤太郎 三五番 黒川佐太郎

三六番 山口 康

一 議事日程(

議案第一〇号 昭和三七年度館山市特別会計と畜場

第一 歳入歳出追加更正予算

議案第二号 館山市と畜場電気冷蔵施設工事請負

契約の締結について

一 法第百二十一条による出席説明員

市長 本間 讓

助役 小出武男

秘書課長 小倉澄男

厚生課長 伊藤幸太郎

一本議会の事務局長 書記及び取員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

同 矢藤恭一

取員 錦織睦子

一出席議員 二七名

一欠席議員 六名

一七番議員 志村信作 二四番議員 飯田義男

二五番議員 脇田順一 二八番議員 加藤良太郎

三一番議員 田村喜兵衛 三五番議員 黒川佐太郎

午
前
右
二
時
南
會

二
會
山
前
請
名

議長(山本昇君) 本日出席議員数 二五名。

こゝより第二回市議会臨時会を開会いたします。
本臨時会の議案説明のため本間市長、小出助役
伊藤課長、小倉課長以上出席を求めました
ので、中報告いたします。

会議録署名員の決定を行います。

本臨時会々会議録署名員に一三番議員、安
沢徳順君、二三番議員、吉田辰雄君、以上兩君を
指名いたします。これに中異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君) 中異議なしと認めます。よって決定
いたしました。

会期の決定を行います。

本臨時会々会期について、議会運営協議会の意を

見は、本日一日ということであります。

おはかりいたします。会期を一日と定めますことに
市異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(山本昇君)市異議なしと認めます。よって決ま
した。

本日の議事は、お手えに配付の日程表により行います。
市長の提案理由の説明を求めます。

(市長本間譲君登壇)

・市長(本間譲君)本日、ここに臨時市議会を招集いたし
まして当面緊急を要する議案について市審議を
お願いいたします。議案は二件でござ
います。と殺場における追加更正予算、同じく
と殺場の冷蔵施設の新設工事の請負契約に

ついてでございます。期日的にも早急を要するものでございまして、臨時会をということで、特にお願ひ申し上げた次第でございます。

議案の詳細につきましては関係担当課長から説明申し上げますので、何とぞよろしく御賛同のほどをお願ひ申し上げる次第でございます。

・議長（山本昇君）日程第一議案第一〇号及び一一号を一括上程いたします。

（書記朗読）

議案第一〇号

昭和三七年度館山市特別会計と畜場ギ入ギ出追加更正予算

議案第一一号

館山市と畜場電気冷蔵施設工事
請負契約の締結について

・秘書課長（小倉澄男君）と畜場の歳出の部の人件費に

ついて、市説明申上げます。

これは、実は人事院勧告によりますベース改定により
 まーく一ヶ月に上りまーて、取員の給与改定が
 行われるのでございますが、たまたまと畜場に関する
 本日臨時市議会を招集いたしまして、たことにつき
 まーて追加更正予算が提出されるということとを
 申しまして、三月定例市議会におきまして、
 全員の給与改定については、市審議を願う予定
 になっておりますが、この給与追加だけをまた
 さらに一週間位先にもおかわらず、と畜場の特別
 会計予算を提出するという煩瑣を避けまーて
 ここに予定をされておりますところの取員給与、並び
 に諸手当、並びに共済組合負担金を追加いたし
 た次第でございます。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) 工事請負費につきまゝ追加工事請負費について、
追加予算について、申上げます。

冷蔵施設工事請負費の追加でございますが、
この点につきまゝは、申承知の通り当初予算
におきまゝ起債をもちまゝ、三百万円の冷蔵
施設工事費を計上したのでございますが、過去とい
うような状況からいたしまして、どうしても三百万円
の範囲内では、工事の実施が無理だということと
ございまして、ここに改めて五十万円の追加をお願い
いたしまして、本年度中に電気冷蔵施設工事を実施
したいというわけでございます。一応貸金等
に若干の追加がございますが、それらの財源は、全
部事業費の使用料の増額分、繰越金、増額分
を財源にいたしまして、本予算を組みました。

一 号議案の請負契約について申し上げたいと思
います。この請負につきましても、去る二月の一
二日に入れを実施したわけでございますが、その
前にございます、東洋冷機工業所を含めまして、
社を指名いたしまして入れを実施したわけでござ
います。その結果、東洋冷機工業所が三百六十
一万三千八百円をもちまして、落れと決定いた
しまして、東洋冷機にこの工事の請負契約をいた
したいということにて提出したわけでございます。

本工事の内容でございますが、別紙に配置図を
参考添えてございすので、御覧いただきたく思
います。今度冷蔵庫を作りす位置といた
しまして、と殺施設の北側、ここに斜線を引
いてあります。この位置に作るということ
でございます。

冷蔵室が九・八坪、準備室が一・八坪、機械室が二・六坪、合計一四・二坪の構造でございます。

でき上りますと小動物で五口頭を収容できる予定になつております。冷蔵の方法といつては、

まず、機械室に冷凍機を備へまして、クレオンガスの高压ガスを圧縮いたしまして、さらにユニットクーラーに圧縮されたガスを送りまして、ユニット・クーラーにより、こゝで一〇、〇〇〇カロリーの熱源を冷まして、冷蔵庫を零下三度まで下げるといふわけでございます。

さらにここにも書いてございますが、クーリング・タワー、あつこの水は十分でございます。冷蔵施設をいたしますのに、相当量の水が必要なのでございます。それで、それだけの量が確保できない見込みでございます。一回使いた水をさらに循環させて冷す。さら

にその冷えたものを順繰りに何回も使っていくとい
うようなことで考えまして、このタワーと合わせて設
置した次でございます。

以上簡単でございすけれども大体の構造につきま
して申しわけでございすので、よろしく御審議を
お願いいたしたいと思います。

・三三番(山口幸三君)と畜場は現在のあう場所を意味
するのですわ。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)その通りでございす。

・三三番(山口幸三君)こういう設備に対しては、反対する
ものではありませんが、今まできたない血を川に流して
おつて、あう川がよれて困るということとは、終戦直後か
ら市の当局にいつておりまするが、血とかそういうもの
は、どういふふう処理するつもりであるか。

厚生課長(伊藤幸太郎君)汚物の処理の問題でございますが、
と殺に要した汚水の処理でございますが、これは、
いろいろ問題もあつたようでございますが、最近簡單
な淨化装置を一応張つております。

但し、この淨化装置もいわゆる本格的なものでは
ございませんけれども、とりあえず、ごく簡単な装
置によりまして、ある程度淨化されたものを流
ておるわけでございます。なほ、この点につきま
しては、将来、やはり、大事な問題でございますので、い
ろいろと手を尽して参りたいというふうに考えて
おります。

それから、あとの固形汚物でございますが、これは、
昭和三八年度にこの固面にも示してございます
けれども、増築の予定がございすが、これを移転

いたしまして、片面を焼却炉を設置いたしまして、固形汚物はそこで焼却するような方法に考えて参りたいという予定であります。

・一四番(法木嗣郎君) ちよつとお尋ねたいのですが、課長さんのおっしゃるのに零下三度まで下げるといふ設備をするそうですが、それに間違ひございせんか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) その点につきましては、設計書その他につきましてこのようになつております。・一四番(法木嗣郎君) 四月以降からでございしますが、零下一五度以下に下げなければ肉の販売はできないといふことになるのだそうですが、零下三度と申しますと、家庭の冷蔵庫も零下五、六度も下るのですが、零下三度ではないですか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) これは、先ほど申し上げました

ように冷凍施設ではなく、あくまでも冷蔵施設で
ございますので、私もさうように承知しております。
・三四番(松本藤太郎君) この施設は結構ですが、場所の使
用料ですけれども使用料が適切な使用料であるかどう
か。それから冷蔵庫がでますと、もちろんこれに対
する使用料というものを条例で定めるといふことが
でてくると思います。そういう点も条例は、はつきり
したものではないのですけれどもさういうものがわかっ
たらお願いしたい。

この冷蔵庫を作つたために取員が増員するといふ
こともあるのではないかと、いふことも考えます。
その点も合わせて、それから取員の賃金ですが、
一ヵ月から人事院勧告による云々という、秘書課
長の話がありました。が、さういった報告によつた賃金と

いうものを既にと場々取員に對しては支給する。
 こういうことでございすが。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) 只今も話のとおり、当然冷蔵施設を利用する人に対しては、相当額の使用料をいただくということに考えます。この使用料の問題につきましても、三月の定例市議会におきまして、使用料の条例の改正を行いたいということに考えます。それから現在うと殺の使用料でございすが、今も話のように高いかどうかということになると、いろいろ問題になることもあるのですが、三八年度におきましては、一応現行の額をもつて推進して参りたいといふような考え方であります。

・秘書課長(小倉澄男君) 給与のことにつきましては、お答えいたします。これはと場だけ先に支払いをするのかと

いう予算問を承めつたのであります。それは支給いたしません。ただ先ほど申し上げましたように、またまたの場の追加更正予算が臨時議会に提出され、またまたの場でさらにまた三月の定例会におきまして、このほかに、と場に対応する追加更正がないのであるけれども追加予算は人件費だけをさらにひけねばならないという煩瑣を避けるためにあらわすため、既に一〇月から国家公務員においても既に予算議決は通っております。ただ条例議決が通らないという状況でございます。そういうふうなことから予算だけ先にやって条例が出たときに支給するというふうな方法を取った次第でございます。

・厚生課長（伊藤幸太郎君）説明を落して申し分けありませんでしたが、取組の問題でございますが、冷

蔵施設ができますとやはり相当仕事量が増えることは事実だと思います。カーそのために増買をするという予定は考えておりません。ただ特別な給与条例で多少のことば考えてやらなければならぬではないかということを考えておりますが、今うとくろ具体的に考えてもらないわけではございません。

・三四番(松本藤太郎君)わかりました。そうしますとこれによっていろいろ使用料がふえてくるということになるが、市販の価格ですゆ。これが高くなるというふうな影響がございせんか。かえって安くなりますか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)その由題でございますが、これは食肉業の者からの強い要望があるので

ございまして、この冷蔵施設を踏み切ったわけ
でございます。そう際に同業者といたーまー
ては、相当額の使用料を払つてもまゝとまゝた、こ
ういった施設に併設して貰いたいというような
要望があつたわけでございます。でございますの
で冷蔵施設を利用したためにある程度の額
が業者としてでは支払いが多くなるわけござい
ますけれどもそれによつて市販をいたします。値
段にどうこうということはおそらく考えておらな
いだろう。こういうふうに考えております。但し
そういった安くなるということは、はっきりわかり
ません。

・二九番(萩生田七郎君)と場、電気冷蔵施設の工事
費が五十万増額追加されたわけなんですけれども

これは設計された当時の規模というものにかわりがなく物価、その他によつて、こういう増額を——から——めたい。その理由を示してもらいたい。それから三四番議員の質問に関連があるんですが、秘書課長さんは、この特別会計の追加の煩を避けるために——たというんですが、これは一般の取扱はむしろ国家公務員にならつて、アップはするのでありますが、——。今回これだけをこれに制約されて来るべき三月の一般の取扱のアップの問題が右ならえするのだ。そう——た結果を生ずるのではないかと要するにと、市場だけには取扱のアップはできておるのだ。こういう觀念に支配されがちになると、思うのでありますが、そういう審議権の尊重、そういう煩を避けるための問題とどちらに輕重がある

るか。その点に対してう考えを示していただきたいと
思います。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)当初予算におきまして、予
定いたしましては坪数、その他につきましては変更は
ございません。ただ私どもが当初予算に三百万とい
うおきましては願が見込み違ひだったということにな
るだろうと思ひますけれども三百万という数字をお
さえましては、一年程度或いは一年前程度にや
らぬまゝた他市や関係等を照会いたしまして、大体
坪当り幾ら位でという大ざっぱな見込みで予算
を計上したわけでございますが、この点は非常に
考へ方が甘かったということになるわけでございます。
そこで実際に設計業者に設計をさせまして
ところ、やはり三百万円では、とうていこれだけの規

模のものは、不可能だという結果が出て参りまして、
たうで考えを述べたわけでございます。

・秘書課長(小倉澄男君)お答えいたします。これが例になつていくのではないかという点でございますが、ベース改定はすべて国家公務員の改定の表をそのまま引用いたしましてやります。たうで、これはふんどく市へ上げますと、機械的な改定でございます。その点で内題は一月にさか上るが、一月からやるのか、そういう点にあるのでございますが、当局といたしましては一月からやりたいという意向で準備を進めておりますので、結論といたしましては、改定の率というものは、不動なものである。それで三月に改定の率のため、と畜場の特別会計に追加予算を出さなければならぬという煩を避けてということにいたしました。

次第でございます。

・二九番(萩生田七郎君) 拙い質問の要点は、取扱いアップの方
も条例改正で三月の市会に出るわけでしょう。もち
ろん国家公務員にならうてゐることももちろんであ
つて、これも異議はないと思つております。一か一議
会の審議権というものは存在してゐる。審議権の
重さというものと、さうした事務的煩雜を避け
るという軽重がいずれにあるかということをも問は
るゝですが、当然議決されるものであり、当然右
ならえされるものであるから、通してもいいじやないかと
いう。そういうことが、基本的な考え方がいいか悪い
かということをも質問してゐるので、当局がさういふ
考えなら、当然審議権のいわゆる尊重論といひ
ますか。そういう点につきまゝで、さらに検討さ

れてーめるべきじゃないか。こう思うわけですよ。

・秘書課長(小倉澄男君) ということのないように今後は
ーたいと思います。

・六番(鈴木彦太郎君) 先ほどの一四番議員さん、関連になるかもーかもしれませんが、零下三度ということをお伺ったので
すけれども三度以上下らないものなうか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) 最低の冷却度がマイナス三度
ということで一応設計されております。南隣の都
度温度が上がるのではないかと。市貨向でござい
ますが、そのために準備室、その他、構造もある
わけでございますので、若干の温度の差というも
のは、考えられると思いますけれどもそれによつて中に
冷凍されるものがあるが、直接どうこうというふうな
影響はないのではないかと。そういうふうな考えであります。

二八番(安西政治君)冷蔵庫の設置によって肉の主として
豚肉の市価の調整、季節的変動による調整に寄
与するところがあつたといふことで、私どもは、この設置を
大いに賛成したのでございますが、そういった面につきま
して考へます、それから使用料、これは先ほども實地
がありましたが、三月市会かなんかで使用料条例に
して明確にするといふふうに解釈してよろしいか、
それから管理人は多分のベース・アップはしてやつても
現在の人でやるといふふうに解釈していいように思ひ
ますが、その点、それから工事の契約ですが、この完
成予定年月日、契約は、一ヶ月でも遅れがちになる
ことが多いので、念のためお伺ひいたします。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)業者の側からいたります
ると、殺場に冷蔵庫が建設される。収容能

かなり大きな冷蔵庫があるということは、単に殺場でと殺したものを、それだけをあそくに冷蔵するということでありませんで、いろんな状況からいたしまして他からもって参ったものをあれを使用して入れて、そうして物価の関係、その他とくらみ合わせまして適宜市場に出すというふうなことが業者の要望として、一番大きかったわけでございます。

いわゆる市価の問題でございますが、この問題はやはり冷蔵施設ができたためにということよりも冷蔵庫をいかに利用するかということでいろいろ考える点と、やはり私は思うわけでございます。直接、私の方としましては、市価の問題まで業者側とは、話し合いをしましてはなかつたわけでございます。

それから、取替の関係でございますが、先ほど申し上げ

まいたように管理につきましては、現在管理人があそこに住んでゐるわけでございます。従いまして管理人に冷蔵施設と管理も合わせて行わせる考え方で進んで参つております。それから工事の完成予定でございますが、実質的には三月いっぱいということまで進んでおります。

一八番(安西政治君) 価格調整ということまでは、考え及ばないが、使用者がある程度、自然に価格調整をすすめるようにもっていつてくれるだろうという解釈でよろしいですか。それともなりゆきでと場にもこういうものが、環境衛生の面から、食肉管理の面から、プラスチックのいいから付ける。こういう程度で解釈でよろしいですか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) 市営の冷蔵施設を作ると

いうことにつきまゝで、価格調整までということでは、今のところなかなかむづかしい問題じゃないかというふうに考えます。これをやるにつきまゝでは、先ほど申し上げましたように業者間の強い要望もございまして、また関係の保健所等々衛生管理の面からできれば是非やつてほしいというふうな指導もございまして、たうで、合わせて実施しようというものでございます。二八番(安西政治君)わかりました。使用料^料うきについて、後日、適当にきめるといふうに解釈してよろしいですわ。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)そうお考えいただきたいと思います。

・一四番(法木嗣郎君)零下三度まで下げて、食肉を切りおいて幾日後もつか、市研究なさいまいたか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)申しわけございませんが、全然見ておりません。完成うあかつきには、巾心配うような点は、十分考えて参りたいと思います。

・二四番(法木嗣郎君)実は私も冷蔵庫をもって現在やつておりますが、豚肉をかけた場合、零下三度位では一日もたない。すぐかびがはえてくる。うちの冷蔵庫も一百度位下げております。一百度保つておかないと豚の内臓は、一二日位でくさつてしまう。こういう体験がございますので三度ということに気がついておるものでございしますので、よく研究なさつていただきたいと思います。います。要望をかわても願いいたります。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)只今うお話、ごもつともでございます。大変申しわけございませんが、検討させていただきたいと思ひます。

・二七番(鈴木市蔵君)こつ式をきめるについで、ほかう何処所、
かう冷蔵庫を見てきめたうが、こつ点を伺つて見たい
と思います。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)こつ建設につきまゝては、茂
原、その他三ヶ所程度、係に命じらるゝ検討させて
ございます。その結果、いろいろな式があるようでは
います。どちらがいいかということにつきまゝては、
専門の設計業者と相談をいたしまして、設計
業者としての責任がある考へ方である。こつ式が
いい採用したということでは進んだわけでございます。
・二七番(鈴木市蔵君)只今、一四番議員の質問にあつた
ような点をよく研究して仕事をやっていった方がいい
と思います。

・三二番(鈴木孝君)冷蔵庫と冷凍施設とは違ふと思ふ

いますが、管理人が現在うままでいいということか
んですが、冷蔵関係には技術者が必要だと思ひますが、
船形の冷凍当りでも一級、二級、三級というふうなもの
があります。そういうことをお考えになつたことがあり
ますか。

厚生課長(伊藤幸太郎君) 今うち話を通りてございま
す。私も素人でよくわかりませんが、高圧ガスの云々
ということからして、その相応の資格をもつたもの
でないか、というふうな面があるのであります。であり
ますので、これは請負業者と、その面は今後相談
をして、法に触れない範囲内でその面を考へていくと
いうふうなことで、現在、実は請負業者と話を
合つておる最中でございます。万全を期して参りた
いと考へております。

・議長(山本昇君)むばかりいたします。

議案第一号及び二号討論有略原案通り可決いた
しますことに仰異議ございませんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

・議長(山本昇君)仰異議ナシと認めます。よって両案
は原案通り可決されました。

以上で本臨時会の議案の審議を終ります。
閉会いたします。

午後三時〇〇分

閉会

本日、会議に付した事件

一、議事日程に同じ

出席議員

山本

昇

石井

孝

三沢

節

小林寅之助

江田

徳太郎

鈴木孝太郎

吉田

勇治郎

佐野

信

嶋

貫壯作

安沢

徳順

法木

嗣郎

嶋田

繁

遠山

三木子

安西

政治

田中

忠蔵

北山

茂雄

後藤

ゆき

田中

禄郎

吉田

辰雄

岩崎

静敬

鈴木

市蔵

荻生

田七郎

長谷川

光江

鈴木

孝

山口

幸三

松本

藤太郎

山口 康

昭和三八年二月二二日

右会議の次第を録しここに署名す。

館山市議会議長

山本 昇

同 署石議員

安澤 徳順

同

吉田 辰雄

